



今井小だより

第9号

令和4年

11月30日

青梅市立今井小学校



今井小HP

早く! 早く! 早く!

校長 神尾 健彦

私が担任の先生をしていた時、保護者会で子供たちからとったアンケートを基にクイズを出したことがあります。「保護者からよく言われている言葉は何でしょう。」というアンケートに子供たちから一番多く出されたのが「早く、～しなさい。」という言葉でした。これは保護者の方々も自覚があるようで、見事に1位を正解させていました。子供がすべきことをせずに違うことをしているときや、時間に間に合わないときなどに、つい出てしまう言葉です。

朝、子供が起床してから学校に出かけるまでに「早く」という言葉を何回使っているでしょう。起きるとき、顔を洗うとき、着替えるとき、学用品をそろえるとき、食事のとき、歯を磨くときなど思っている以上に「早く」の言葉を発しているものです。ある子供が一度、朝、家を出るまで「早く」という言葉を何回言われたかを数えると、32回も「早く」と言われたそうです。6時30分に起床し7時45分に家を出るとすると約2分20秒に1回「早く」を言われた計算になります。無意識のうちに行動を促す言葉の前につけていたり、あるいは口癖になっていたりする場合があります。言われた子供は、それをあまり普段気にもとめていない様子だったのが印象的でした。

「早く」の言葉をできるだけ少なくし、できれば言わなくてもすむようにするには、子供が見通しをもって行動できるようにすることが大切です。次に何をすべきか、いつまでに何をしなければならぬかを考えさせ、余裕をもって一つ一つのことを行うようにさせます。そのためにも時計を見ながら、自ら判断し自らの行動を決める習慣を身に付けさせます。

一つの工夫としては、家庭での過ごし方を示した日課表を作成する方法があります。作成にあたっては、その必要性を説明し、無理のない計画を子供と一緒にすることが大切です。起床、着替え、洗顔、食事、歯磨き、学校の準備の確認、など決められた朝の行動の順序と時刻を示しておきます。また、前日の夜の就寝前に何をすることも決めておくと、なおよいかもしれません。一度決めたら、できるだけ声をかけることを我慢することも必要です。計画通り段取りよく行わないと、登校時刻に間に合わなくなるという経験をさせることも一つの方法です。保護者としてはやきもきするでしょうが、失敗経験から学ばせるということがあってよいのです。

先を見据えて一つ一つのことを丁寧にこなすことによって落ち着いた生活ができるようになります。

冬休みは生活のリズムが乱れがちなので、3学期が始

まる前に子供と一緒に学校がある日の日課表を作成してみたいかたがでしょうか。自分の意志で自分の行動をコントロールできるという経験が、自主性を育て自律ができる基礎につながります。

日課表

6:30	起きて、ふとんをたたむ。
6:40	トイレに行く。 顔をあらう。
6:45	きがえる。
6:50	朝ごはんを食べる。 食べたあとかたづけをする。
7:20	歯みがきをする。 トイレに行く。
7:30	身だしなみを整える
7:40	学校のしたくをたしかめる
7:45	いってきます!